

別添3 子どもの病気 ～症状に合わせた対応～

①子どもの症状を見るポイント

【顔色・表情】
 ・顔色がいつもと違う
 ・表情がぼんやりしている
 ・視線が合わない
 ・目つきがおかしい
 ・無表情である

【目】
 ・目やにがある
 ・目が赤い
 ・まぶたが腫れぼったい
 ・まぶしがる

【鼻】
 ・鼻水がでる
 ・鼻づまりがある
 ・小鼻がピクピクしている
 (鼻翼呼吸)

【口】
 ・口唇の色が悪い
 (紫色(チアノーゼ))
 ・口の中が痛い
 ・舌がいちごの様に赤い

【のど】
 ・痛がる
 ・赤くなっている
 ・声がかれている
 ・咳せきがでる

【食欲】
 ・普段より食欲がない

【睡眠】
 ・泣いて目がさめる
 ・目ざめが悪く機嫌が悪い

【お腹】
 ・張っていてさわると痛がる
 ・股の付け根が腫れている

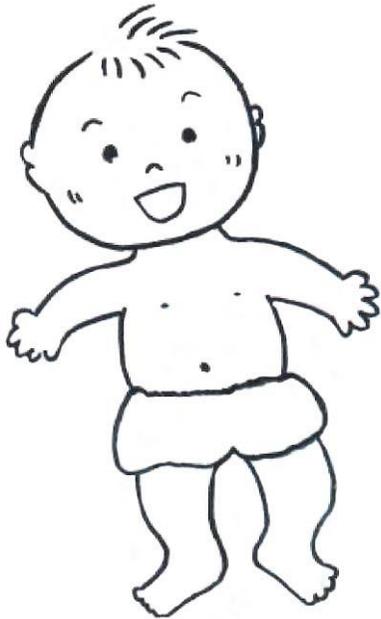
【耳】
 ・痛がる
 ・耳だれがある
 ・耳をさわる

【胸】
 ・呼吸が苦しそう
 ・ゼーゼーする
 ・胸がへこむ

【皮膚】
 ・赤く腫れている
 ・湿しんがある
 ・カサカサしている
 ・水疱、化膿、出血ほうのうしている
 ・紫斑がある
 ・肌色が蒼白である
 ・虫刺されで赤く腫れている
 ・打撲のあざがある
 ・傷がある

【尿】
 ・回数、量、色の濃さ、
 においがいつもとちがう
 ・血尿が出る

【便】
 ・回数、量、色の濃さ、におい、がいつもとちがう
 ・下痢、便秘
 ・血便が出る
 ・白色便が出る



○ 子ども一人一人の元気な時の『平熱』を知っておくことが症状の変化に気づくめやすくなります。

○ **いつもと違うこんな時は、子どもからのサインです！**

- ・親から離れず機嫌が悪い(ぐずる)
- ・睡眠中に泣いて目が覚める
- ・元気がなく顔色が悪い
- ・きっかけがないのに吐いた
- ・便がゆるい
- ・普段より食欲がない

○ **今までなかった発しんに気がいたら・・・**

- ・他の子どもたちとは別室へ移しましょう。
- ・発しん以外の症状はないか、発しんが時間とともに増えているか、などの観察をしましょう。
- ・クラスや兄弟姉妹、一緒に遊んだ子どもの中に、感染症が疑われる症状がみられる子どもがいらないか、確認しましょう。